

MOMAS Sound Montage Workshop

サウンドモンターージュ ワークショップ

参加費無料

10月22日（土）13:00～17:00 埼玉県立近代美術館2階講堂

定員：15名（小学生は保護者等による同伴をお願いいたします）

- ・持ち物：鍋やかん等、音がでる物品ならなんでもお持ち下さい。（楽器等ではない物品のほうが面白い制作ができます）
制作データをお持ち帰りご希望の場合は300メガバイト以上の空きがあるUSBメモリ等の記録媒体をお持ち下さい。
- ・共同制作アーティスト：中村隆行、生形三郎、堀川廉之
- ・講師：柴山拓郎（作曲家・東京電機大学講師）
- ・企画制作：柴山拓郎
- ・スタッフ：東京電機大学理工学部「作曲・音楽文化研究室」
- ・主催：東京電機大学理工学部／Saitama Art Platform 形成準備事業実行委員会
- ・協力：東京電機大学理工学部情報システムデザイン学系
- ・申し込み・問い合わせ：Tel.049-296-5571 / Fax.049-296-5311（東京電機大学理工学部情報システムデザイン学系） / e-mail：takuro@mail.dendai.ac.jp
- ・申し込み方法：①氏名 ②年齢 ③住所 ④電話番号 ⑤メールアドレスを記載し、ファックスまたはeメールでお申し込み下さい。
- ・申し込み締切：2011年10月19日（水）

だれでも今日からアーティスト!

- 音が出るモノならなんでも！日常的な物品等々何でも素材にして電子音楽を作りましょう！
- 完成した音楽をCDにしてお家に持って帰りましょう！
- 参加者どうしのコラボレーション作品をプロのアーティストと共同制作作品として完成させましょう！
- ワークショップに参加された方々は、プロのアーティストと共同で制作した作品の「アーティスト」として、2011年12月10日（土）・11日（日）MOMAS 空間音響ライブ vol. 4※（会場：埼玉県立近代美術館）に参加できます。（参加費無料）
- ワークショップで録音した物音は、2011年11月8日（火）から12月18日（日）まで埼玉県立近代美術館1階エントランスホールで展示されるサウンドインスタレーション作品「MOMAS サウンドインスタレーション『記憶の投影 2011』」の素材の一部として使用します。

関連企画：

2011年11月8日（火）～12月18日（日）：MOMAS サウンドインスタレーション「記憶の投影 2011」

2011年12月10日（土）・11日（日）：MOMAS 空間音響ライブ vol.4 「音楽という拡がりとともに 2011」

MOMAS 空間音響ライブ vol.4 「音楽という表現の拡がりとともに 2011」

コンピュータやマルチチャンネルスピーカーシステムを用いたライブコンサートを埼玉県立近代美術館（MOMAS）で2008年、2009年に実施。2010年には、電子音響音楽の始祖であるピエール・シェフェールの映画上映とテクノロジーを用いた芸術表現のあり方に関するシンポジウムを開催。2011年には、音楽を作るという表現により多くの人々に触れてもらい、プロとアマチュアの境界を融解させることをテーマとしてサウンドモンターージュワークショップとライブコンサートを計画。同美術館をはじめ、新・港村、川越鶴ヶ島団地集会所で実施するサウンドモンターージュワークショップでの参加者の方々とプロのアーティストの共同制作作品として完成させ、12月10日（土）～11日（日）のライブコンサートでの上演を予定しています。

主催：東京電機大学理工学部／Saitama Art Platform 形成準備事業実行委員会

協力：東京電機大学理工学部情報システムデザイン学系

問い合わせ：東京電機大学理工学部情報システムデザイン学系 Tel.049-296-5571 / Fax. 049-296-5311 / e-mail：takuro@mail.dendai.ac.jp

埼玉県立近代美術館内 Saitama Art Platform 形成準備事業実行委員会事務局 Tel. 048-824-0110（中村）

e-mail：SMF.info@artplatform.jp

SMF は身近な場所でアートを楽しむ支援し
再創造するプラットフォームをめざしています。
<http://www.artplatform.jp>

SMF
Saitama Muse Forum

MOMAS Sound Montage Workshop

サウンドモンタージュ ワークショップ

音のモンタージュ？

皆さんの周りにはいろいろな物品があると思います。それらの物品は、通常、それぞれ役割を持っているものがほとんどでしょう。そして、ほとんどのものは「音」を出すために使うものでもないでしょう。しかし、そつとたたいたり、さすったり、何らかの方法で全ての物品から「物音」を出すことができます。さらに、私たちの周りには、自動車や、足音、人の声や、テレビの音や、様々な物音があります。それらのほとんどは、物や人が動いたり、話したり、何か原因と目的がある「物音」です。

このワークショップでは、それらの「物音」を録音。コンピュータで切って貼って並べ替えてモンタージュ、ちょっと変わった「音楽」を創ります。「音楽」についての専門知識は一切必要ありません。ちょっと変わった「音楽」が出来あがりますが、その面白さを是非体験してみてください！

共同制作アーティストプロフィール

中村隆行：1986年7月生まれ。大学在学中にコンピュータを使って音楽を制作し、電子音響音楽作品『パラジット!!!!?』がCCMC2009入選。近年、音響情報のフィードバックを用いたリアルタイムの音響生成システムを独自に開発し、関東各地のライブハウスやアートイベントで演奏している。また、映像と照明を用いた視覚的、空間的なシステムを用いてダンサーやパフォーマーとのコラボレーションも積極的に行っている。<http://nakamuraprocess.blogspot.com/>

生形三郎：電子音響を主体とした表現を行う。高解像度な電子音響作品の制作とオリジナルスピーカーを用いた作品発表を行い、音響素材の録音からスピーカーアウトプットまでを全て自らで構築管理した、体験的な音響空間の創出を作品とする。サウンドインスタレーションやライブパフォーマンスをはじめ、オンライン音源リリース、書籍執筆・企画、コマーシャルな音楽制作や企業と連携した音環境開発なども行う。東京藝術大学大学院修了（先端芸術表現）、昭和音楽大学卒業（作曲）。<http://saburo-ubukata.com/>

堀川廉之：環境音や日常にある物音などを録音・編集してゆるくスタイルを軸に、ダンスミュージックシーンや映画音楽など多方面で活動。仏 Eklektik Records に所属しソロ作品やリミックス提供等複数のリリースがある。2010年には仏で開催されるムービーフェスティバル“Off Courts”に招待され、また今年 Red Bull Music Academy に唯一の日本人として選出され、参加が決定。

ワークショップ講師・スタッフプロフィール

柴山拓郎：1971年東京生まれ。東京音楽大学大学院（作曲専攻）、東京芸術大学大学院（先端芸術表現）博士課程修了。修士（音楽）、博士（美術）。2006年よりSMF（埼玉ミュージアムフォーラム）の運営に携わり、埼玉県立近代美術館におけるサウンドモンタージュワークショップや、マルチスピーカーシステムを用いた電子音響音楽のライブコンサートを企画し、近代以降の音楽表現の拡がりや複眼的に捉える活動を展開している。東京電機大学理工学部情報システムデザイン学系講師のほか、大阪芸術大学、常葉学園大学、国際基督教大学、女子美術大学各非常勤講師。<http://www.music.ia.dendaid.ac.jp>

作曲・音楽文化研究室（スタッフ） 東京電機大学理工学部情報システムデザイン学系にある、作曲家柴山拓郎の指導のもと研究創作活動を展開する研究室。音楽表現を、人間が歴史の中で文化そのものを進化させてきた流れの中で捉え、新たな表現の方法とその意味を総合的に創出するための発想力・実践力の獲得を目指す。大学3年生～院生までが所属し、どこまでヘンテコな音楽を音楽として捉えられるのかという、限界ギリギリの表現を追求。[4年] 天下井隆宏、伊藤哲朗、井上雄太、上田佳祐、太田悠、木村竜一、黒川竜太郎、高麗研二、新保祐一、谷口智朗、並木隆明、野沢竜一、古澤世理佳、町田優樹、清水七海、阿部勇也、中嶋宏聡、藤原正裕、木田大輔、郡司健人 [3年] 池田勇輝、今瀬歩、及川駿平、金田翔平、斎藤弘樹、佐藤正樹、高橋朋也、瀧島恭平、中野立樹、中村裕之、野崎亮太、山田和明、山本桃子 [院生] アブレット・アイビブラ、横山博樹、中村隆行、船橋翔平、山口達也 [研究生] 内田駿平、牛山大肇